

# 化するまちづくり



成田市長  
小泉一成

昨年末の市長選挙におきまして、市民の皆様への信託を受け、5期目として再度、市政のかじ取り役という重要な職責を担わせていただくこととなり身の引き締まる思いでございます。

私は平成19年1月の市長就任以来「住んでよし 働いてよし 訪れてよし」の次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちづくりに向けて、全身全霊をささげ市政運営に取り組んでまいりました。5期目にあたり「つなぐ未来へ 進化するまちづくり」をスローガンとし、本市のさらなる発展に向けて、成田空港の更なる機能強化に対応したまちづくり、国家戦略特区制度の活用、騒音地域の振興、少子高齢化対策、教育環境の拡充、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ経済の活性化などの課題へ果敢に挑み、市民の皆様が希

望を持ち安全・安心に暮らせる「進化するまち」を目指して、これまで築いてきた国や空港周辺9市町などとの信頼関係や4期16年の経験を生かし、全力で市政運営に取り組んでまいります。

ここ数年、本市も新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けております。市民の皆様、事業者の皆様、そして医療従事者の皆様には、感染症の拡大防止対策にご協力をいただき、改めて深く感謝申し上げます。

依然として新型コロナウイルス感染症との闘いは続いておりますが、この危機を乗り越え、共に「輝かしい成田」の未来を切り開いていくため、改めまして、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 空港と共に持続的に 発展していくまちづくり

### 新しい成田空港と共に

本市は、成田山新勝寺や宗吾霊堂を中心とした門前町としての顔、農業が盛んな農村地域としての顔、そして成田空港が所在する日本の空の表玄関としての顔など、他市には見られない多くの特性を持つた市であります。

成田空港につきましましては、3本

目の滑走路の建設やB滑走路の延伸といった更なる機能強化が、市民の皆様のご理解のもと順調に進められており、この機能強化が実現いたしますと、空港内において3万人もの新規雇用が創出されるなどの効果が見込まれております。さらに現在、ワンターミナル化やアクセスの改善などの中長期的な課題や環境変化に対応可能な「新しい成田空港」構想が検討されております。

私も委員として検討会に参画しており、この構想の実現により、成田空港が「アジアのハブ空港」として生まれ変わることを大いに期待しております。

また、この経済効果は計り知れないものであると確信しており、本市および空港周辺地域にさらなる発展をもたらす最大の地方創生であります。

### 新たな都市基盤の整備

今後は、人と物の流れがさらに活発になることから、不動ヶ岡地区、吉倉・久米野地区、東和田南部地区の土地区画整理事業などの新たな都市基盤の整備や、空港周辺地域における土地利用規制の緩和、空港へのアクセスが向上する圏央道・北千葉道路といった広域道路ネットワークの活用などによ

り、人口増加や物流機能などの受け皿をしっかりと確保してまいります。

そして、成田ニュータウンも大きな受け皿になると期待できることから、赤坂センター地区の複合施設の整備を中心に、成田ニュータウンの再生にも取り組んでまいります。

### 地域経済の活性化

市内の経済状況に目を向けますと、長引く新型コロナウイルス感染症の流行や急激な円安、ウクライナに対するロシアの侵攻などにより物価が高騰し、市民の皆様におかれましては、大変苦労をされていることと心を痛めております。

本市では、これまで中小企業や個人事業主の皆様には総額約17億円に及ぶ給付金の支給や、プレミアム付商品券の発行、下水道料金の免除、子育て世代への各種給付金の支給、私立幼稚園・保育園などへの支援、さらには高齢者や若者への商品券の交付により、生活支援を行うとともに消費喚起につなげるなど、市独自のさまざまな支援策を実施してまいりました。

そのような中、昨年10月には水際対策の大幅な緩和により入国者数の上限が撤廃され、海外からの

# つなぐ未来へ進

個人旅行も解禁されるなど国内の観光需要が高まり、経済に明るい兆しが見えてきたと感じております。

本市においても、今後も社会情勢などに応じて対策を強化するとともに、インバウンド需要をしっかりと取り込み、地域経済の活性化を図ってまいります。

## 観光立市のさらなる推進に向けて

### 国内外に本市の魅力をPR

昨年は成田市御案内人である三代目市川團十郎白猿丈の襲名奉告参拝のほか、成田太鼓祭や成田伝統芸能まつり、成田祇園祭、成田弦まつりなど多くのイベントを開催し、観光客の誘致に努め、本市のにぎわいの創出に取り組んでまいりました。

引き続き、国内外に本市の魅力をもっとPRすることで交流人口の増加を図ってまいります。

### 食によるにぎわいの創出

昨年1月に天神峰地区に移転した成田市場は、市民の皆様のご来店として、新鮮な農水産物を取り扱っており、普段からご来店でも買い物を楽しむことができます。今後は、市場内から調達した農水産物を取り扱う集客施設をでき

る限り早期に整備することで、食によるにぎわいの創出を図ってまいります。

### スポーツツーリズムの推進

各種大会の誘致などを通してスポーツツーリズムを推進してまいります。また、東小学校的跡地を利活用したパークゴルフ場の整備を行うとともにスポーツ環境の充実を図ってまいります。

さらに、パラスポーツを通じた共生社会の実現に取り組んでまいります。

## 子育て世帯に魅力あるまちづくり

### 子育て世帯の負担を軽減

高校生への医療費助成では、本年8月をめぐって現在の償還払い方式を現物給付に変更し、利便性の向上を図ってまいります。

また、学校給食費の無料化を段階的に実施するほか、食物アレルギーなどにより給食を食べることができず、毎日弁当を持参している児童・生徒の保護者に対し、給食費相当分を助成いたします。

さらに、高校生相当年齢までの子どもがいる子育て世帯に5,000円分の電子マネーをチャージしたうなりくんWALONカードを交付することなどにより、子育て

て世帯の経済的負担の軽減に取り組んでまいります。

### 教育環境などの拡充

学校運営に地域の声を生かし学校づくりを進めるコミュニティ・スクールの導入や、部活動の地域移行に向けた体制整備を行い、教育環境の拡充に取り組んでまいります。また、平成小学校・本城小学校への児童ホームの増設や、老朽化した保育園・学校給食センターの再整備を進めてまいります。

## 医療・福祉の安心したまちづくり

高齢者支援については、今後到来する超高齢社会において、住み慣れた地域で生涯を完結できるまちづくりを念頭に、増加が見込まれる認知症への対策として、成年後見支援センターの利用促進を行うとともに、75歳以上の高齢者に対する高齢者保健事業や介護予防事業を一体的に実施してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、さまざまな支援策を展開してまいりましたが、現在においても物価高や年金の減額などにより生活に影響が出ていることから、状況に応じて対策を強化してまいります。

本当に困っている人に手を差し伸べるこそ行政の役割であり、今後も市民の皆様へ寄り添いながら各種事業を展開してまいります。

令和6年3月31日には、昭和29年に本市が誕生してから70周年という大きな節目を迎えます。

私としても「つなぐ未来へ進化するまちづくり」のスタートの年として「住んでよし働いてよし訪れてよし」の次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちの実現のため、全力で取り組んでまいりますので、温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。



上空から見た成田空港